

K N O
 小野澤繁雄
 布宮 慈子
 河村 郁子

同窓祭のキャンパスに心残ししも平成最後の名月に遇ふ 9月25日 K

もうすぐに月がまるいねということの中の子と話し少しして満つ 9月26日 O

野分きまた台風といふ大風の去りて「在庫一掃内閣」生まる 10月3日 N

十月の七日は真夏日 わが父の五十回忌の法会営む 10月9日 K

うろこ雲みるうれしさよみるところうろこつながりにうごいているよ 10月10日 O

あの声は白鳥ならむあかつきに鳴き交はしつつ南へ南へ 10月14日 N

通学の都電より見し白鳥は皇居の堀に季知らずなり 10月15日 K

秋映も秋陽も林檎ともにバラで一二八円はレジのつごうか 10月18日 O

スチューベンはどこか懐かし濃き色の秋の終はりのぶだう味はふ 10月23日 N

スーパ一のフルーツ棚に一つのみラ・フランスあり 吾を待ちぬしや 10月25日 K

背景は羽毛ゲイトウ スマホもて子が撮りくれしなかの我れなる 10月26日 O

パンジーやビオラが並ぶ店先に木枯らし吹きぬ冬の入口 10月31日 N

華やげる花舗にて祝儀の花拵び三本の吾亦紅添へたり 11月4日 K

金物を収れる金物金物店ワイヤーがみゆ鳥籠がある 11月8日 O

竹箒、ざるやちりとり並べたる荒物屋あり勢至堂まへ 11月10日 N

豆腐屋はむかしと変はらぬ佇まひ石神井公園通りの老舗 11月12日 K

小園は近道になっているらしくベンチ後ろをすれ違う人 11月30日 O

東京の電車の人はイヤホンとスマホをまとふ鎧のやうに 12月3日 N

この年のわれの十大ニュース選る大つごもりに一つ残して 12月5日 K

赤銅になりきらぬ葉もまだ残るヒイラギナンテン四号棟冬 12月9日 O